

# 8人が学科表彰 努力が讃えられる



表彰状を受け取る水田陵成君(建3)

卒業証書を受け取る土木科の金川流輝君



第78回卒業証書授与式が本校体育館で行なわれた。今年の卒業生は217人だった。生徒会長の澤田宙陽君(電2)が送辞を、前生徒会長の上口護君(情3)が答辞を述べた。

# 祝卒業

## 217人が旅立つ 「旭工での経験を生かす」



# 工高タイムス

北海道旭川工業  
高等学校新聞局  
〒078-8804  
北海道旭川市緑が丘  
東4条1丁目1-1  
発行人(局長)  
稲留 駿斗  
(電気科2年)

### 卒業生の声

**建築科 山崎晴輝君**

工高祭が一番の思い出だ。中学校とは違って大規模で模擬店が本格的だった。クラスステージはライブ感があって青春を感じた。

卒業後は(株)明石木工製作所に勤める。指物大工なので細かい部分に気を配りながら家具作りをしたい。

後輩には、高校生活はあっという間なのでとにかく今を楽しんでほしい。

**電気科 宮城悠斗君**

見学旅行が一番の思い出。自主研修でハブニングや計画

### 隙間時間を有効に利用 優良卒業生に選出 佐藤侑星君(電3)



趣味は読書

専門高等学校等御下賜金記念優良卒業生の表彰を受けた。この賞は専門学科を置く高等学校で人物と学業が非常に優れた卒業生に受賞される名誉ある賞だ。

3年間、資格取得や部活動、アルバイトに取り組んだ。取得できる資格はすべて取るつもりで挑み、基本情報技術者試験にも合格し、6種類を取得した。放送局では副局長を務め、行事の音響や運営補助を行ない、放送局のSNSを開設、運営もした。忙しい中でも、通学時間や休み時間などの隙間時間を利用して勉強した。こうした活動の中で準備の大切さと仲間の大切さを実感した。

先生方には授業だけでなく現場を想定した学びや進路について親身に指導してもらった。後輩には何事にも挑戦し、失敗してもその経験を次の糧としてほしい。

### 旭工 ライフ

**電子機械科 安田伶夢君**

卒業後は北海道電力ネットワーク(株)に就職する。旭工で学んだあいさつや礼儀を生かして、仕事面や人間関係でも信頼されるように頑張りたい。

後輩には、資格取得や勉強を全力で取り組んで、様々なことに挑戦してほしい。

卒業後は酪農学園大学に進学する。旭工で過ごして得た経験を生かして大学生活を送りたい。

### 保護者の声

**工業化学科**

ソフトテニス部で一生懸命頑張っていた。最後の高体連の団体戦では惜しくも敗れたが、感動する試合だった。

榊田 武君(建3)

水田 陵成君(建3)

加藤 聖人君(土3)

栗林育英学術財団研練賞

安孫子 恋君(電3)

全国情報技術教育研究会生徒表彰

渡辺 慶太君(情3)

全国設備工業教育研究会賞

渡邊 燦人君(機3)

### 土木科

この前入学したと思ったら、もう卒業であつという間だった。悩ま立ち止まることもあったが、友達に恵まれ、先生方にも助けてもらった。生徒会役員に、学校行事にと多くの頑張りを発揮することができた。卒業後は親元を離れ、社会

部活動とアルバイトで勉強がおろそかになるのではと心配だったが、陰で勉強していたのだと感謝した。

**情報技術科**

就職したら新しい環境で大変なこともあると思うが、新たななら乗り越えられる。人懐っこい性格なのですぐに先輩にも可愛がられる。身体に気を付けて、社会人を楽しんでほしい。

私は今日卒業する。旭工に入学してからすぐ新聞局に入部した。部活動だけでなく勉強も頑張る、高校生活で思い出せることができた▼私が新聞局に入部しようと思ったのは、二つ上の兄が所属していた、分らないことをすぐに聞けるからだだった。不安になったときも、頼れる兄のおかげで自信を持って部活動に取り組むことができた。しかし、今まで頼っていた兄が卒業した。2年生になって後輩が入部してきた。後輩をうまく支えられるか、今まで通りに頑張っていけるかなど、不安でいっぱいだった。だが兄をお手本にして普段から勉強と両立して部活動などを頑張ってきたおかげで、残っていた不安や心配もうまく乗り越えられた。この1年間の経験が大きな成長となって、3年生になってから局長として、局長とうまく活動できた理由にもなったのだと思う▼卒業した兄が就職してから会う機会も少なくなった。それでも兄の存在に安心感を覚え、兄を目標にして高校生活を過ごしてきたことを実感している。私が高校生活で頑張ったり、無事に過ごせたりしたのは兄のおかげだと思っている。高校生活全体を振り返ると、私にとつて兄こそが校訓の「信頼される人になれる」の模範になっていたと感じた。私も兄のような人になれるようにこれからも努力を続けていって、少しでも周りにいる人たちに信頼されるように過ごしていきたい。(化3村岡)



# 個性が強く輝いている



### 電子機械科 宮崎郁人君

「スゴエクラス」だ。意見が言い合え、工高祭では人に任せられるのではなく皆が積極的、仕切ってくれる人もいて役割分担をしっかりと動いた。一番の思い出は見学旅行だ。事前準備が十分ではなく、体調を崩したり時間ぎりぎりだったけれど、無事に帰ってこられた。3年生では就職や進学のため雰囲気は真剣だったが、楽しむときは楽しむ

こともあった。一番の思い出は3年生の時の漢字コンクールで、誰も赤点を取ることなく総合一位を取れたこと。担任の國井達也先生には、社会人として生きていくための基本的なことを徹底して教えてもらった。野球部でメンタルが強くなった。旭工では就職活動がスムーズにでき、面接練習でアドバイスをもらったのが良かった。卒業後は愛知県の三菱重工業(株)に就職する。旭工で学んだことを生かし、校訓の「信頼される人」になる。

後輩には部活動や生徒会、ボランティアなど何かに力を入れてほしい。面接で話せたり、応募書類に書いたりして困ることはない。

うるさくて明るく、表裏のないクラスだった。授業中も話していて注意されるのがあったが、先生ともたくさん話した。笑ひも多かった。入学した頃は皆緊張していたが、工高祭で初めて皆の明るい姿が見られた。2年生になり、クラスが一丸となった。見学旅行では普段見られない姿が見られた。3年生では立派な旭工生として、全ての行事で学生を引っ張った。

# 一番は普段の生活

### 工業化学科 小西 劉君



普段の何げない会話やふざけあったときが一番楽しかった。

担任の富樫潤先生は生徒のことを第一に考えて発言や行動をして、笑顔を増やすためにギャグなどを工夫し、常に愛を感じた。「3年間、ありがとうございました」

私はバスケットボール部での3年間で心を成長させた。社会人として当たり前のあいさつや礼儀を旭工での生活で学ぶことができた。卒業後は出光興産(株)北海道製油所で働く、旭工で学んだことを生かして頑張りたい。

部活動で3年生の時に悔しい結果に終わったので、後輩には悔いを残さないように頑張るって良い結果を残してほしい。

# HR委員長が思い出を語る



### 建築科 谷口空晴君

クラスの仲が良いことが特徴。1年生の時は皆まじめでやるべきことをしっかりとこなしていた。2年生では西野朋和先生の物理の授業が思い出だ。特に旭工オリンピックと工高祭が思い出に残っている。1年生から3年生の建築科全員で協力して取り組み、

# クラスの仲が深まった工高祭

# 心を成長させた3年間

# 仲間の大切さを再認識

一番楽しむことができた。3年生の工高祭では総合優勝した。準備から本番まで全力で楽しくやれ、この期間を通してクラスの仲が深まった。

担任の西川聡仁先生には何かから何までお世話になった。「ありがとうございました」

私はバスケットボール部に所属し、仲間の大切さを再認識した。旭工の入学して新しい仲間を増やすことができた。卒業後は東京の日本建設(株)に勤める。会社に早くなじみ、「凡事徹底」で頑張りたい。

# 楽しむときは楽しむ



### 情報技術科 香林秀明君

「ものづくり」で分からないところなどを友達と教え合い、友達だけではなく先生方との関係も良くなった。旭工は就職先がすごく良い。卒業後は(株)NTT・MEに勤める。少しでも早く仕事を覚え、活躍したい。後輩には、高校生活は長いように短いので、1、2年生のうちには部活動や夏休みや冬休みを楽しんでほしい。

# 最後は負けない

### 電気科 宮島佳汰君



正直な意見を出してくれるクラスだが、うるさすぎることもある。最強のクラスで色々なところを補い合っている、最後はどんなクラスにも負けない。2年生の時は皆資格試験に向けて頑張っていた。先生方から叱られることが多かったが、しっかりと協調性を持っていた。

一番の思い出は見学旅行で京都や奈良で日本の歴史や文化を感じ、大阪では関西ならではの温かさを感じた。担任の高橋仁史先生には迷惑をかけたが、3年間見放すことはなく「ありがとうございました」。

# 個性豊かで元気



### 土木科 金川流輝君

個性豊かで、元気が良く見えるが笑顔はベビーフェイスで、昭和のオーバードに発言する人が多く、積極的な人が多い。入学後すぐ、仲が良かった。春季体育文化大会では1年生で総合優勝し、先生チームと対戦し勝つこともできた。2年生でも総合優勝した。そして、一番の思い出は旭工オリンピックだ。1年生から3年生までも取得することができる。卒業後は旭川市役所に勤務する。旭川を今よりももっと良い街にするために全力で働きたい。

後輩には、高校生にしかできないことがたくさんあるので今のうちに楽しんでおこう。旭工は社会に出るための知識をどこかの高校よりも学べると思うので、自分のためにも思っているように。